

【基本情報】

教科	理数	学年	2年	教科書	
科目	SS理科Ⅱ (地学分野)	単位数 (年間予定コマ数)	4 (128)	副教材	地学基礎 改訂版(啓林館)・地学(啓林館) ニューステージ新地学図表(浜島書店) マーク式基礎問題集地学基礎(河合出版)・センサー地学(啓林館)
科目概要	<ul style="list-style-type: none"> 地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則について、身近な自然現象との関連を図りながら学習する。地学的な探究活動を通して、科学的な見方や考え方を身につける。さらに発展的な学習をすることによって地学への理解をさらに深める。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を身につける。 地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 大学入試センター試験「地学基礎」「地学」に対応するために必要とされる知識や思考力を身につける。 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・図表を基にした講義を中心に授業を進める。 学習内容に関わる探究活動を行うことで、知識や理解の定着を図る。 				
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・副教材(図表・問題集)・ノート・ワークシート等を綴じるファイルを持ってくること。 グループで実習を行う際には、積極的参加しメンバーと協力すること。 忘れ物をした場合は、事前に申し出ること。提出物の期限を守ること。期限に遅れた場合は、減点になる場合がある。 講義に対して、質問するなどの積極的な姿勢を歓迎する。 				
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 履修した内容について、教科書と副教材の問題演習を家庭学習において解いてください。 				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性や仕組みについて、学習内容と関連づけて考える態度をもつこと。 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。 				

【評価の方法】

観点	ポイント	割合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物や自然現象の概念について科学的な見方や考え方でとらえようとする。	20%	授業ワークシート・観察・実験での取り組み状況やレポート、小テスト、定期考査など、随時観点別項目を設定し評価する。
B. 思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物や自然現象に対して、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	30%	
C. 技能	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	20%	
D. 知識・理解	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を整理し、知識を身につけている。	30%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
<p>< 2年 前期 ></p> <p>第1部 固体地球とその変動</p>							
第1章 地球	8	・イントロダクション ・地球の概観について学び、その内部構造について理解する。	○	○			・学習の進め方について理解する。 ・地球の形状や大きさ、その具体的な測定方法と原理を理解する。
第1節 地球の概観				○	○		
第2節 地球の内部構造				○	○		・プレートの分布と運動およびプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。
第2章 活動する地球	15	・プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。		○		○	・地震、火山、造山運動などの地殻変動のしくみを理解する。 ・地殻変動とプレート運動との関係を理解する。
第1節 プレート							
第2節 地震					○	○	
第3節 火山活動と火成岩の形成					○	○	
<p>第2部 移り変わる地球</p>							
第1章 地球史の読み方	10	・堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。	○	○		○	・風化作用、流水の作用と地表の変化のしくみを理解する。 ・堆積岩の形成と分類について理解する。
第1節 堆積岩				○	○		・地質構造（地層、断層、不整合等）の特徴と成因を理解する
第2節 地層と地質構造				○	○		・地質構造と化石から生命や環境の変化を考察する。
第3節 地球の歴史				○		○	・地層の水平的な広がりを理解する。
第2章 地球生命の進化	12	・古生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。	○			○	・地球の誕生から生物の出現にいたる地球の歴史について理解する。
第1節 先カンブリア時代			○			○	・古生物の変遷に基づいて地質時代が区別されることや地球環境の変遷について理解する。
第2節 顕生代			○			○	
前期中間考査	1						
<p>第3部 大気と海洋</p>							
第1章 大気と海洋	10	・大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。	○			○	・大気の大循環とそれによる地球規模の熱の輸送について理解する。
第1節 大気圏							
第2節 水と気象				○	○		・大気の大循環とそれによる地球規模の熱の輸送について理解する。
第2章 太陽放射と大気	10	・地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。		○		○	・地球全体の熱収支について理解する。
・海水の運動				○	○		・海水の運動とそれによる地球規模の熱の輸送について理解する。
第1節 地球のエネルギー収支				○		○	
第2節 大気の大循環				○		○	
第3節 海水の循環				○		○	
第3章 日本で見られる季節の気象	10	・日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。		○	○	○	・日本で見られる冬から春の気象について理解する。
第1節 冬から春の気象				○	○	○	
第2節 夏から秋の気象				○	○	○	
前期末考査	1						
<p>< 2年 後期 ></p> <p>第4部 宇宙の構成と構造</p>							
第1章 太陽系と太陽	12	・太陽系の誕生について理解し、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について学ぶ。	○			○	・太陽系の構成、構成天体の性質について理解する。 ・太陽系の誕生について理解する。 ・太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源について理解する。
第1節 太陽系の天体				○	○		
第2節 太陽系の誕生						○	
第3節 太陽					○	○	
●地球と惑星の運動					○	○	・恒星の明るさと色について理解する。
第2章 恒星としての太陽の進化	12	・恒星としての太陽の誕生と進化を理解する。 ・遠く離れた恒星の性質について、恒星からの光を調べることで明らかにされてきたことを学ぶ。		○		○	・恒星の誕生と進化について理解する。
第1節 太陽と恒星				○	○	○	
第2節 恒星の進化				○		○	
●恒星の性質とHR図				○	○	○	
後期中間考査	1						
第3章 銀河系と宇宙	12	・恒星と星間物質の大集団である銀河系や遠くの銀河などの天体について学び、宇宙の構造や膨張について学ぶ。また、それが天体観測技術の発達によって次第に可能になっていったことを学ぶ。		○	○	○	・銀河系とまわりの銀河について理解する。 ・宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。 ・宇宙の構造や膨張について理解する。
第1節 銀河系とまわりの銀河				○	○	○	
第2節 宇宙の姿				○	○	○	
●銀河と宇宙				○	○	○	
<p>第5部 自然との共生</p>							
第1節 地球環境と人類	12	・人類と自然の関わりについて学ぶ。	○	○	○	○	・人類が自然から多様な恩恵を受けていることを理解する。
第2節 自然災害と防災		・自然災害と防災について学ぶ。					・日本の自然災害と防災について理解する。
第3節 地球環境		・地球環境に及ぼす人間活動の影響について学習する。					・地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解する。
学年末考査	1						